

答弁指定事項進捗状況調書

令和元年 9 月	議員名	辻浦 義浩		
	担当部	経済環境部	担当課	水産林務課
質問年月日	令和元年 9 月 12 日			
質問事項	有珠地区の振興について			
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>有珠地区における漁獲量、水揚げ高が大幅に減少しており、養殖ホタテの原因不明の大量死によるものと捉えているが、この問題についてどのように考えているか。</p>				
<p><b>【答弁要旨】</b> <span style="float: right;"><b>【答弁者：経済環境部長】</b></span></p> <p>有珠地区に限らず、若い世代の漁業者が安定してホタテ養殖業を営めるよう噴火湾沿岸の漁協、市町で構成する協議会などで、死因の調査事業の実施を行っていきたいと考えている。</p>				
<b>【対応・進捗状況】</b>	<b>対応済</b> (令和 4 年 3 月 31 日)	対応中	検討中	実施不可
<p>■令和 4 年 10 月 1 日現在</p> <p>噴火湾胆振海区漁業振興推進協議会（室蘭市、伊達市、洞爺湖町、豊浦町、室蘭漁協及びいぶり噴火湾漁協で構成）では、胆振地区水産技術普及指導所及び栽培水産試験場等の協力により、平成 29 年度からへい死要因調査として、ホタテガイの養殖過程における分散の作業時期、収容密度などに関する調査を行ってきたところがあります。</p> <p>その結果、へい死要因の解明には至らなかったものの、本調査の成果として、稚貝の正常貝率が高いほど出荷貝の生残率が向上し、生産量が増加することが分かっており、稚貝の生産に関するマニュアルが作成され、漁業者へ配付されております。</p> <p>なお、今後については、マニュアルに基づく実証試験により、作業効率や収益性について確認することとなっております。</p>				